

令和4年度 岡山県のハンセン病問題対策事業実施実績

【全体総括】

●岡山県ハンセン病問題対策協議会	3
------------------	---

【個別課題への対応】

1 偏見・差別解消のための啓発事業のきめ細やかな実施

(1) 単なるパンフレットの配布等ではなく、啓発資材を活用した語り部等による伝承、対話集会の実施等きめ細やかな事業実施を工夫すること	
●ハンセン病問題に関する講演会等の開催	3
●地域交流促進事業	3
●啓発DVDの活用	4
●小中学生向けハンセン病問題啓発アニメーション動画の活用	4
(2) ハンセン病に関する正しい情報提供を行うこと	
●ホームページでの啓発	4
●学習用小冊子の配布	4
●6月22日「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」関連事業	4
●啓発パネル等の貸出	5
○人権啓発研修（人権施策推進課・保健福祉課）	5
○人権啓発パートナーシップ推進事業費補助金（人権施策推進課）	5
○パンフレット等の設置、配布（人権施策推進課）	5
(3) 道徳副読本問題が提起した偏見・差別の無意識な助長に配慮し、学校教育の中の人権教育において取り上げること	
○交流研修会の実施等（教育庁総合教育センター）	5
○児童生徒の人権学習の成果を発信（教育庁人権教育・生徒指導課）	5
○各種研修会における「第4次岡山県人権教育推進プラン」等の配付・説明（教育庁人権教育・生徒指導課）	6
○人権教育指導資料の活用の促進等（教育庁人権教育・生徒指導課）	6
(4) 高齢者等への理解を深めるために社会教育活動として生涯学習（出前講座）にも取り組むなど人権意識の涵養をさらに推進すること	
●DVDの販売・無料貸出	6
○人権教育・啓発指導者講座Ⅰの実施（人権施策推進課、教育庁人権教育・生徒指導課）	7
(5) 若い世代に対する啓発は、ハンセン病の正しい知識についてストレートに伝えていくこと	
(6) 主要公立図書館にハンセン病関連文献コーナーを設置すること	
○県立図書館への設置（教育庁県立図書館）	7
○啓発パネル・関連図書の展示（教育庁県立図書館）	7

2 福祉増進施策の実施

(1) 入所者を訪問し、県に対する要望などの意向調査を行うこと	
●議会と保健福祉部による合同訪問	7
●入所者激励費の贈呈	8
(2) 社会復帰支援員を設置し、社会復帰希望者からの相談に対応するとともに、当面、住宅、医療等の確保が求められている状況を受けて、継続的に入所者及び親族や関係市町村等との連絡調整等の支援を行うこと	
●社会復帰支援員による支援活動	8
●社会復帰推進事業	8

(3) 住宅の確保について、関係市町村とも十分連携しながら公営住宅の優先入居や民間住宅の入居斡旋等の支援を行うこと	
○県営住宅の優先入居（住宅課）	8
●住宅費の一部補助	8
(4) 医療の確保について、退所者に対する在宅医療の確保や療養所の協力医師、協力医療機関の確保、医療関係者の研修を目的として、療養所、入所者自治会と関係自治体、医療関係団体等との協議の場を設ける等の支援を行うこと	
●個別案件ごとに対応	8
●医療費、介護保険利用料の補助	8
(5) 本人の希望に応じ、里帰り希望者には個別対応を行うこと	
●岡山県出身者への訪問	9
●意向を伺い、個別案件ごとに対応	9
3 両園保有史料の保全策に関する国への要望の実施	
●史料の保全に関する国への要望	9
4 今後体制を整えた上で、さらに行う取り組み	
(1) ハンセン病療養所入所者に対する聞き取り調査の実施	
●小冊子への体験談の掲載	10
●動画やアニメーションによる啓発	10
(2) 関連資料・史料の収集・蓄積	
●資料集刊行、収集した史料の保存・公開	10

※●健康推進課の実施事業

※組織名については、令和4年度の組織名を記載しております。

全 体 統 括

●岡山県ハンセン病問題対策協議会

第1回

令和4年8月23日 開催

<議題>

- 1 令和3年度事業実施実績
- 2 令和4年度事業実施状況
- 3 その他

第2回

令和5年3月27日 開催

<議題>

- 1 令和4年度事業実施状況
- 2 令和5年度事業実施計画
- 3 その他

個 別 課 題 へ の 対 応

1 偏見・差別解消のための啓発事業のきめ細やかな実施

(1)単なるパンフレットの配布等でなく、啓発資材を活用した語り部等による伝承、対話集会の実施等きめ細やかな事業実施を工夫すること

●ハンセン病問題に関する講演会等の開催

入所者による学校講演会 実施校 7校 870人

1	9月12日	岡山市立福島小学校(リモート)	6年生	68人	担当：長島愛生園
2	9月30日	岡山市立操南中学校	3年生	279人	担当：長島愛生園
3	10月22日	井原市立美星中学校	1～3年生・保護者	90人	担当：邑久光明園
4	11月15日	津山市立北陵中学校	1年生	175人	担当：邑久光明園
5	11月17日	美作市立大原中学校	2年生・保護者	80人	担当：長島愛生園
6	11月24日	学校法人就実学園就実小学校	6年生	34人	担当：長島愛生園
7	12月8日	岡山市立幡多小学校	6年生	144人	担当：長島愛生園

<参加した児童・生徒の感想(主なもの)>

- ・実際に体験した人の講演はわかりやすく、パンフレットよりも想像ができて、知識が身につきました。
- ・隔離されていた人は、なにも悪いことをしていないのに、偏見・差別に苦しんでいたことを知り、ハンセン病について正しく理解することがより大切だと思いました。
- ・患者さんは悪くないのに、療養所に監房があったというのはおかしいと思いました。
- ・自ら偏見・差別を生んでしまうような行動をすることはあってはならないため、人に流されずに、自ら情報収集を行い、しっかり自分の意見を持つと思いました。
- ・これからは、周りの誤った情報に惑わされず、ハンセン病はおそろしいものでもなく、治る病気であるということをみんなに伝えていきたいと思います。

●地域交流促進事業

県民が実施する地域交流事業への補助 16件 (1,009人)

<令和3年度>7件(約360人)

- 啓発DVDの活用
随時 図書館等での視聴・貸出等

・療養所訪問研修、学校講演会における事前学習や地域での人権研修等で活用

- 小中学生向けハンセン病問題啓発アニメーション動画の活用
※入所者エピソード2編、歴史解説1編
(令和4年3月ホームページ・YouTubeにて一般公開)

視聴回数 1,048 件

・パネル展(県庁会場)での上映
・他団体のイベントでの上映

(2)ハンセン病に関する正しい情報提供を行うこと

- ホームページでの啓発

おokayamaハンセン病啓発WEB www.hansen-okayama.jp

「ハンセン病を正しく理解するために～みんなで描くひとつの道～」

通年 公開開始：平成14年6月24日

リニューアル：令和3年2月26日

アクセス数 2,853 件

- 学習用小冊子の配布

随時 学校・市町村等へ配布、長島愛生園歴史館・邑久光明園等での活用
※冊子配布に加えホームページに冊子のPDFデータを掲載

学習用小冊子「ハンセン病のこと正しく知っていますか？」

・主な配布先 内外の学校、市教育委員会等
・配布数 3,772 部

- 6月22日「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」関連事業

ハンセン病問題に関する普及啓発及びパネル展開催に係る各種広報

路面電車へ中吊り広告を掲出

期間：令和4年6月13日～22日

パネル展

期間：令和4年6月20日～7月1日

場所：県庁1階県民室

内容：パネル17枚や関連書籍等の展示、アニメーションの上映

- 啓発パネル等の貸出
随時 希望に応じて貸出

・県立図書館(令和4年4月15日～6月26日)
・(公財)人権教育啓発推進センター(令和4年7月1日～8月5日)
・京都 西本願寺(令和4年11月24日～令和5年1月17日)

- 人権啓発研修(人権施策推進課・保健福祉課)
県職員が療養所を訪問し、その歴史と現状を学ぶとともに、人権についての正しい理解と認識を深め、人権行政の担い手としての資質の向上に役立てる研修を実施。
令和5年1月24日 長島愛生園 24名参加(オンライン含む)

- 人権啓発パートナーシップ推進事業費補助金(人権施策推進課)
民間団体との協働による人権尊重社会の実現を目指して、人権意識の高揚を目的に活動する団体が行う人権啓発事業に対し、その実施に係る経費の一部を補助。
補助団体名：公益財団法人邑久光明園友愛会
補助事業名：人権啓発展示会
交付決定額：150,000円
関連啓発として、令和4年12月10日(土)開催の「ハートフルフェスタ2022おこやま」でロビー展示を実施。

- パンフレット等の設置、配布(人権施策推進課)
随時 公民館・図書館等の公共施設に設置した人権情報コーナー(200か所)での情報提供

(3) 道徳副読本問題が提起した偏見・差別の無意識な助長に配慮し、学校教育の中の人権教育において取り上げること

- 交流研修会の実施等(教育庁総合教育センター)
国立療養所の園長による講義、入所者による講話等を通して、ハンセン病問題についての正しい理解を図る研修を実施する。

- ・人権教育担当者研修講座
邑久光明園において、令和4年9月27日(火)に定員20人で実施

- 児童生徒の人権学習の成果を発信(教育庁人権教育・生徒指導課)
人権学習の成果を踏まえた人権啓発メッセージ動画を募集。
(令和4年度「わたしの人権メッセージ動画チャレンジ」)
優秀賞作品 → 教育庁人権教育・生徒指導課のホームページで紹介
(参考：ハンセン病問題を取り上げた作品(応募作品) → 令和4年度は5作品)

○各種研修会における、「第4次岡山県人権教育推進プラン」等の配付・説明
(教育庁人権教育・生徒指導課)
市町村の人権教育担当者、各学校の人権教育担当者、初任者等を対象にした研修会で、資料を配付し、説明を行う。

<配付資料・説明の内容>

- ・「第4次岡山県人権教育推進プラン」について
- ・ハンセン病問題学習の充実に向けて(県の事業、小冊子「ハンセン病問題のこと 正しく知っていますか?」等の紹介、配付)

○人権教育指導資料の活用の促進等(教育庁人権教育・生徒指導課)
授業等で活用できる指導資料(「人権教育実践事例集・環境づくり編」「人権学習ワークシート集(上)」「ワークショップ(下)」「人権学習実践事例集」等)や視聴覚教材等について各種研修会で紹介し、活用を促す。

<作品名>

- ・普及啓発DVD「未来への絆～ハンセン病から学ぶ～」
(字幕入り)(平成30年2月改訂作品)
- ・YouTube 法務省チャンネル「ハンセン病問題を知る～元患者と家族の思い～」
- ・(校内研修用)講義動画「校内研修シリーズ:ハンセン病問題学習 差別の連鎖を絶つーハンセン病問題から学び、伝えるー」
- ・教材「なかおしんじ物語」(長島愛生園学芸員作成)

(注)「人権教育実践事例集・環境づくり編」「人権学習ワークシート集(上)」は、人権教育・生徒指導課HPでも紹介している。

(4)高齢者等への理解を深めるために社会教育活動として生涯学習(出前講座)にも取り組むなど人権意識の涵養をさらに推進すること

●DVDの販売・無料貸出

通年 制作委託会社に販売委託、健康推進課・県立図書館において無料貸出

- ①「ハンセン病を正しく理解するために」3,000円
ハンセン病全般がわかる啓発DVD29分
語り部証言集12名:157分
- ②「今、わたしたちができること」1,000円
小・中・高校生向けハンセン病啓発DVD14分
- ③「未来への絆～ハンセン病問題から学ぶ～」(無料貸出のみ)
入所者との交流や語り部講演、人権教育の場として長島の紹介32分
- ④「語り部講演映像」(無料貸出のみ)
4名の語り部講演映像の啓発DVD136分

販売 7枚(①②のみ)

無料貸出 18枚

○人権教育・啓発指導者講座Ⅰの実施

(人権施策推進課、教育庁人権教育・生徒指導課)

人権問題の早期解決に向けて人権問題相互の関連を図り、自らの課題として日常生活の中に生かせる人権感覚を身につけるための教育・啓発活動を推進できる指導者を養成するため、全4回の研修のうちの一つとして、邑久光明園において現地研修を行う。

実施日：令和4年10月7日(金)

受講者：25名

研修内容：講義、フィールドワーク、資料展示室見学

(5)若い世代に対する啓発は、ハンセン病の正しい知識についてストレートに伝えていくこと

各啓発活動の中で配慮

(6)主要公立図書館にハンセン病関連文献コーナーを設置すること

○県立図書館への設置(教育庁県立図書館)

県内市町村立図書館にも、ハンセン病関連の蔵書あり

通年 ハンセン病関連文献コーナーを設置

7月 「岡山県立図書館所蔵ハンセン病関係資料目録」の作成及び関係機関への送付

○啓発パネル・関連図書の展示(教育庁県立図書館)

令和4年4月28日～6月26日 県立図書館2階 郷土資料部門にて「学ぼう!ハンセン病問題」展示

- ・パネル12枚と関連資料約150点を展示
- ・県や療養所作成のリーフレット等を配付

2 福祉増進施策の実施

(1)入所者を訪問し、県に対する要望などの意向調査を行うこと

●議会と保健福祉部による合同訪問

令和4年7月11日、「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」(6月22日)に合わせて、環境文化保健福祉委員長及び保健福祉部理事が長島愛生園及び邑久光明園を訪問

納骨堂への献花。

園長や自治会長等と懇談。

- ・「ハンセン病元患者家族に対する補償金の支給等に関する法律」施行後の状況、コロナ禍での啓発活動状況について情報共有したほか、今年度の花火(夏祭り)、療養所での最近の生活の話などをした。

- 入所者激励費の贈呈（ハンセン病療養所入所者に対するもののみ）
令和4年12月19日に副知事が訪問し、贈呈
対象：長島愛生園及び邑久光明園の入所者全員

納骨堂への献花。

園長や自治会長等と懇談。

- ・カルテ・解剖録の資料展示や見学者用の新たな建物の話があった。また、小中高校生や大学教育学部生への人権教育について要望を伺った。

(2) 社会復帰支援員を設置し、社会復帰希望者からの相談に対応するとともに、当面、住宅、医療等の確保が求められている状況を受けて、継続的に入所者及び親族や関係市町村等との連絡調整等の支援を行うこと

- 社会復帰支援員による支援活動
平成23年度末をもって、活動終了

- 社会復帰推進事業
療養所全体としての社会復帰を推進するため、療養所を訪問して行う、交流活動への補助
2件（153人）実施

<令和3年度> 1件（8人）

(3) 住宅の確保について、関係市町村とも十分連携しながら公営住宅の優先入居や民間住宅の入居斡旋等の支援を行うこと

- 県営住宅の優先入居（住宅課）
年4回 健康推進課及び住宅課において対応

実績なし

- 住宅費の一部補助
随時 生活保護基準により支給（例）岡山市（単身）37,000円／月
「岡山県ハンセン病療養所等退所者助成金支給要領」

(4) 医療の確保について、退所者に対する在宅医療の確保や療養所の協力医師、協力医療機関の確保、医療関係者の研修を目的として、療養所、入所者自治会と関係自治体、医療関係団体等との協議の場を設ける等の支援を行うこと

- 個別案件ごとに対応
随時 関係自治体、医師会との協議

社会復帰者については、健康推進課で随時対応
要望等、特になし

社会復帰希望者の要望を踏まえ、関係自治体や医療機関等と連絡調整

- 医療費、介護保険利用料の補助
随時 （例）自己負担上限（市民税非課税）：医療費・介護費 各15,000円／月
「岡山県ハンセン病療養所等退所者助成金支給要領」

(5) 本人の希望に応じ、里帰り希望者には個別対応を行うこと

●岡山県出身者への訪問

- ・令和4年7月11日 長島愛生園 6名
訪問時に、見舞金と里帰り助成金を贈呈した。新型コロナウイルス感染症の影響及び県人会の方の高齢化に伴い、個別の面談は難しい状況にある。
- ・令和4年10月27日 多摩全生園 1名
- ・令和4年10月28日 神山復生病院 1名
過去2年間、新型コロナウイルス感染症の影響で訪問を見合わせていたが、今年度は、感染状況を考慮し、時期をずらして訪問。訪問時に、見舞金及び里帰り助成金を贈呈し、近況や県への要望などを伺った。

<県外療養所入所者訪問時の状況>

- ・お二人ともまだまだ元気な様子だった。
- ・最近は、年齢やコロナもあり外には出ていないようだが、ラジオやインターネットなどで最近のニュースや岡山県の状況を知っているようで、長島のことも気にかけていた。

●意向を伺い、個別案件ごとに対応

里帰り、墓参りへの支援等について個別案件ごとに対応

3 両園保有史料の保全策に関する国への要望の実施

●史料の保全に関する国への要望

令和5年度重点要望

<内容>

将来構想の実現に向け、全力で取り組むこと。
ハンセン病療養所が保有する歴史的建造物や過去の貴重な文献等の資料を保全し、普及啓発に活用すること。

(参考)

国の登録有形文化財として登録（平成31年3月）

【長島愛生園】旧事務本館など5件

【邑久光明園】恩賜会館など5件

4 今後体制を整えた上で、さらに行う取り組み

(1)ハンセン病療養所入所者に対する聞き取り調査の実施

自治会及び園当局の協力を得て、聞き取り調査を実施し、了解が得られる方の聞き取り調査結果については、啓発資料として活用すること

●小冊子への体験談の掲載

通年 入所者の体験談を掲載した小冊子を、語り部講演会、学校等での人権学習に活用

【再掲】

問い合わせのあった県内外の学校、市教育委員会等へ配付
学習用小冊子「ハンセン病のこと正しく知っていますか？」 約 3,772 部

●動画やアニメーションによる啓発

通年 語り部証言動画や体験談のアニメーションをホームページや動画投稿サイト上に投稿し、展示会や人権学習の場で活用

(2)関連資料・史料の収集・蓄積

広く県民に対して関連資料の提供を呼びかけるとともに、歴史研究者の協力を得て、岡山県及び市町村保存史料等の調査・研究を進め、偏見・差別解消に向けた取組みの一環として、これらの調査・研究を通じて明らかにされる事実を題材として、県民に対する啓発を行うこと

●資料集刊行、収集した史料の保存・公開

通年 平成20年度までに刊行した資料集制作の際等に収集した史料を、平成21年度末に県立記録資料館へ引き継ぎ済。

県立記録資料館において、史料の公開(平成27年1月6日～)。
なお、史料開示の相談があった場合は、個別案件ごとに対応している。

※●健康推進課の実施事業

令和5年度 岡山県のハンセン病問題対策事業実施状況

【全体総括】

●岡山県ハンセン病問題対策協議会	13
------------------	----

【個別課題への対応】

1 偏見・差別解消のための啓発事業のきめ細やかな実施

(1) 単なるパンフレットの配布等ではなく、啓発資材を活用した語り部等による伝承、対話集会の実施等きめ細やかな事業実施を工夫すること	
●ハンセン病問題に関する講演会等の開催	13
●地域交流促進事業	13
●啓発DVDの活用	13
●小中学生向けハンセン病問題啓発アニメーション動画の活用	13
(2) ハンセン病に関する正しい情報提供を行うこと	
●ホームページでの啓発	14
●学習用小冊子の配布	14
●6月22日「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」関連事業	14
●啓発パネル等の貸出	14
○人権啓発研修（人権・男女共同参画課、保健医療課）	14
○人権啓発パートナーシップ推進事業費補助金（人権・男女共同参画課）	15
○パンフレット等の設置、配布（人権・男女共同参画課）	15
(3) 道徳副読本問題が提起した偏見・差別の無意識な助長に配慮し、学校教育の中の人権教育において取り上げること	
○交流研修会の実施等（教育庁人権教育・生徒指導課）	15
○児童生徒が人権学習の成果を発信（教育庁人権教育・生徒指導課）	15
○各種研修会における「第4次岡山県人権教育推進プラン」等の配付・説明（教育庁人権教育・生徒指導課）	15
○人権教育指導資料の活用の促進等（教育庁人権教育・生徒指導課）	16
(4) 高齢者等への理解を深めるために社会教育活動として生涯学習（出前講座）にも取り組むなど人権意識の涵養をさらに推進すること	
●DVDの販売・無料貸出	16
○人権教育・啓発指導者講座Ⅰの実施（人権・男女共同参画課、教育庁人権教育・生徒指導課）	17
(5) 若い世代に対する啓発は、ハンセン病の正しい知識についてストレートに伝えていくこと	
(6) 主要公立図書館にハンセン病関連文献コーナーを設置すること	
○県立図書館への設置（教育庁県立図書館）	17
○啓発パネル・関連図書の展示（教育庁県立図書館）	17

2 福祉増進施策の実施

(1) 入所者を訪問し、県に対する要望などの意向調査を行うこと	
●議会と保健医療部による合同訪問	18
●入所者激励費の贈呈	18
(2) 社会復帰支援員を設置し、社会復帰希望者からの相談に対応するとともに、当面、住宅、医療等の確保が求められている状況を受けて、継続的に入所者及び親族や関係市町村等との連絡調整等の支援を行うこと	
●社会復帰支援員による支援活動	18
●社会復帰推進事業	18

(3) 住宅の確保について、関係市町村とも十分連携しながら公営住宅の優先入居や民間住宅の入居斡旋等の支援を行うこと	
○県営住宅の優先入居（住宅課）	18
●住宅費の一部補助	18
(4) 医療の確保について、退所者に対する在宅医療の確保や療養所の協力医師、協力医療機関の確保、医療関係者の研修を目的として、療養所、入所者自治会と関係自治体、医療関係団体等との協議の場を設ける等の支援を行うこと	
●個別案件ごとに対応	19
●医療費、介護保険利用料の補助	19
(5) 本人の希望に応じ、里帰り希望者には個別対応を行うこと	
●岡山県出身者への訪問	19
●意向を伺い、個別案件ごとに対応	19
3 両園保有史料の保全策に関する国への要望の実施	
●史料の保全に関する国への要望	19
4 今後体制を整えた上で、さらに行う取り組み	
(1) ハンセン病療養所入所者に対する聞き取り調査の実施	
●小冊子への体験談の掲載	20
●動画やアニメーションによる啓発	20
(2) 関連資料・史料の収集・蓄積	
●資料集刊行、収集した史料の保存・公開	20

※●健康推進課の実施事業

全 体 統 括

●岡山県ハンセン病問題対策協議会

第1回

令和5年8月17日 開催

<議題>

- 1 令和4年度事業実施実績
- 2 令和5年度事業実施状況
- 3 その他

第2回

令和6年3月 開催予定

個 別 課 題 へ の 対 応

1 偏見・差別解消のための啓発事業のきめ細やかな実施

(1)単なるパンフレットの配布等でなく、啓発資材を活用した語り部等による伝承、対話集会の実施等きめ細やかな事業実施を工夫すること

- ハンセン病問題に関する講演会等の開催
語り部講演会 11校で実施予定

<内訳> 小学校5校、中学校5校、高等学校1校

- 地域交流促進事業
県民が実施する地域交流事業への補助
随時 20件を予定

申請件数9件、762人(7月末現在)

- 啓発DVDの活用
随時 図書館等での視聴・貸出等

・療養所訪問研修等における事前学習

- 小中学生向けハンセン病問題啓発アニメーション動画の活用
※入所者エピソード2編、歴史解説1編
(令和4年3月ホームページ・YouTubeにて一般公開)

視聴回数 208回(6月末現在)

・パネル展(県庁会場)での上映
・他団体のイベントでの上映

(2)ハンセン病に関する正しい情報提供を行うこと

●ホームページでの啓発

おokayamaハンセン病啓発WEB www.hansen-okayama.jp

「ハンセン病を正しく理解するために～みんなで描くひとつの道～」

通年 公開開始：平成14年6月24日

リニューアル：令和3年2月26日

アクセス数 775件(6月末現在)

●学習用小冊子の配布

随時 学校・市町村等へ配布、長島愛生園歴史館・邑久光明園等での活用
冊子配布に加えホームページに冊子のPDFデータを掲載

学習用小冊子「ハンセン病のこと正しく知っていますか？」

・主な配布先 内外の学校、市教育委員会等

・配布数 2,075部(7月末現在)

●6月22日「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」関連事業 ハンセン病問題に関する普及啓発及びパネル展開催に係る各種広報

路面電車へ中吊り広告を掲出

期間：令和5年6月13日～6月22日

パネル展

期間：令和5年6月19日～6月30日

場所：県庁1階県民室

内容：パネル17枚や関連書籍等の展示、アニメーションの上映

●啓発パネル等の貸出

随時 希望に応じて貸出

○人権啓発研修（人権・男女共同参画課、保健医療課）

県職員が療養所を訪問し、その歴史と現状を学ぶとともに、人権についての正しい理解と認識を深め、人権行政の担い手としての資質の向上に役立てる。

令和6年1月22日（予定）

邑久光明園

30名参加見込

○人権啓発パートナーシップ推進事業費補助金（人権・男女共同参画課）
民間団体との協働による人権尊重社会の実現を目指して、人権意識の高揚を目的に活動する団体が行う人権啓発事業に対し、その実施に係る経費の一部を補助。
補助団体名：公益財団法人 邑久光明園友愛会
補助事業名：人権啓発展示会
交付決定額：150,000円

○パンフレット等の設置、配布（人権・男女共同参画課）
随時 公民館・図書館等の公共施設に設置した人権情報コーナー（200か所）での情報提供

(3) 道徳副読本問題が提起した偏見・差別の無意識な助長に配慮し、学校教育の中の人権教育において取り上げること

○交流研修会の実施等（教育庁総合交流センター）
国立療養所の園長による講義、入所者による講話等を通して、ハンセン病問題についての正しい理解を図る研修を実施する。

- ・人権教育担当者研修講座
邑久光明園において、令和5年9月22日（金）に定員20人で実施予定

○児童生徒の人権学習の成果を発信（教育庁人権教育・生徒指導課）
人権学習の成果を踏まえた人権啓発メッセージ動画を募集。
（令和5年度「わたしの人権メッセージ動画チャレンジ」）
優秀賞作品 → 教育庁人権教育・生徒指導課のホームページで紹介する。

○各種研修会における、「第4次岡山県人権教育推進プラン」等の配付・説明
（教育庁人権教育・生徒指導課）
市町村教育委員会の人権教育担当者、各学校の人権教育担当者、初任者等を対象にした研修会で、資料を配付し、説明を行う。

<配付資料・説明の内容>

- ・「第4次岡山県人権教育推進プラン」について
- ・ハンセン病問題学習の充実に向けて（県の事業、小冊子「ハンセン病問題のこと正しく知っていますか？」等の紹介、配付）

○人権教育指導資料の活用の促進等（教育庁人権教育・生徒指導課）
授業等で活用できる指導資料（「人権教育実践事例集・環境づくり編」「人権学習ワークシート集（上）」「ワークショップ（下）」「人権学習実践事例集」等）や視聴覚教材等について各種研修会で紹介し、活用を促す。

<作品名>

- ・普及啓発DVD「未来への絆～ハンセン病から学ぶ～」
（字幕入り）（平成30年2月改訂作品）
- ・YouTube 法務省チャンネル「ハンセン病問題を知る～元患者と家族の思い～」
- ・（校内研修用）講義動画「校内研修シリーズ：ハンセン病問題学習 差別の連鎖を絶つーハンセン病問題から学び、伝えるー」
- ・教材「なかおしんじ物語」（長島愛生園学芸員作成）

（注）「人権教育実践事例集・環境づくり編」「人権学習ワークシート集（上）」は、人権教育・生徒指導課HPでも紹介している。

(4) 高齢者等への理解を深めるために社会教育活動として生涯学習(出前講座)にも取り組むなど人権意識の涵養をさらに推進すること

●DVDの販売・無料貸出

通年 制作委託会社に販売委託、健康推進課・県立図書館において無料貸出

- ①「ハンセン病を正しく理解するために」3,000円
ハンセン病全般がわかる啓発DVD29分
語り部証言集12名：157分
- ②「今、わたしたちができること」1,000円
小・中・高校生向けハンセン病啓発DVD14分
- ③「未来への絆～ハンセン病問題から学ぶ～」(無料貸出のみ)
入所者との交流や語り部講演、人権教育の場として長島の紹介32分
- ④「語り部講演映像」(無料貸出のみ)
4名の語り部講演映像の啓発DVD136分

販売 1枚(6月末現在)(①②のみ)
無料貸出 6枚(7月末現在)

○人権教育・啓発指導者講座Ⅰの実施

(人権・男女共同参画課、教育庁人権教育・生徒指導課)

人権問題の早期解決に向けて人権問題相互の関連を図り、自らの課題として日常生活の中に生かせる人権感覚を身につけるための教育・啓発活動を推進できる指導者を養成するため、全4回の研修のうちの一つとして、長島愛生園において現地研修を行う。

実施日：令和5年7月27日(木)

受講者：26名

研修内容：講義、フィールドワーク、資料展示室見学

(5)若い世代に対する啓発は、ハンセン病の正しい知識についてストレートに伝えていくこと

各啓発活動の中で配慮

(6)主要公立図書館にハンセン病関連文献コーナーを設置すること

○県立図書館への設置(教育庁県立図書館)

県内市町村立図書館にも、ハンセン病関連の蔵書あり

通年 ハンセン病関連文献コーナーを設置

7月 「岡山県立図書館所蔵ハンセン病関係資料目録」の作成及び関係機関への送付

○啓発パネル・関連図書の展示(教育庁県立図書館)

令和5年5月17日～7月17日 県立図書館2階 郷土資料部門 にて
「学ぼう!ハンセン病問題」展示

- ・パネル12枚と関連資料約100点を展示
- ・県や療養所作成のリーフレット等を配付

2 福祉増進施策の実施

(1) 入所者を訪問し、県に対する要望などの意向調査を行うこと

● 議会と保健医療部による合同訪問

令和5年7月3日、6月22日の「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」に合わせて、環境文化保健子ども福祉委員長及び保健医療部次長が長島愛生園及び邑久光明園を訪問

納骨堂への献花。

園長、自治会役員と懇談。

- ・「ハンセン病元患者家族に対する補償金の支給等に関する法律」施行後の状況、入所者の高齢化及びそれに伴う職員の人員、今年度の花火(夏祭り)、療養所での最近の生活の話などをした。

● 入所者激励費の贈呈 (ハンセン病療養所入所者に対するもののみ)

例年、12月に県幹部が訪問し、贈呈

対象：長島愛生園及び邑久光明園の入所者全員

(2) 社会復帰支援員を設置し、社会復帰希望者からの相談に対応するとともに、当面、住宅、医療等の確保が求められている状況を受けて、継続的に入所者及び親族や関係市町村等との連絡調整等の支援を行うこと

● 社会復帰支援員による支援活動

平成23年度末をもって、活動終了

● 社会復帰推進事業

療養所全体としての社会復帰を推進するため、療養所を訪問して行う、交流活動への補助

随時 約5件を予定

申請件数2件、153人(7月末現在)

(3) 住宅の確保について、関係市町村とも十分連携しながら公営住宅の優先入居や民間住宅の入居斡旋等の支援を行うこと

○ 県営住宅の優先入居 (住宅課)

年4回 健康推進課及び住宅課において対応

実績なし

● 住宅費の一部補助

随時 生活保護基準により支給 (例)岡山市(単身)37,000円/月
「岡山県ハンセン病療養所等退所者助成金支給要領」

(4) 医療の確保について、退所者に対する在宅医療の確保や療養所の協力医師、協力医療機関の確保、医療関係者の研修を目的として、療養所、入所者自治会と関係自治体、医療関係団体等との協議の場を設ける等の支援を行うこと

●個別案件ごとに対応

随時 関係自治体、医療機関との協議

社会復帰希望者の要望を踏まえ、関係自治体や医療機関等と連絡調整

社会復帰者については、健康推進課で随時対応要望等、特になし

●医療費、介護保険利用料の補助

随時 (例) 自己負担上限(市民税非課税): 医療費、介護費 各15,000円/月
「岡山県ハンセン病療養所等退所者助成金支給要領」

(5) 本人の希望に応じ、里帰り希望者には個別対応を行うこと

●岡山県出身者への訪問

- ・令和5年7月3日 長島愛生園 4名
訪問時に、見舞金と里帰り助成金を贈呈した。新型コロナウイルス感染症の影響及び県人会の方の高齢化に伴い、個別の面談は難しい状況にある。
- ・令和5年6月28日 神山復生病院 1名
- ・令和5年6月29日 多摩全生園 1名
訪問時に、見舞金及び里帰り助成金を贈呈し、近況や県への要望などを伺った。

<県外療養所入所者訪問時の状況>

・お二人とも元気なご様子だったが、年齢やコロナもあり岡山県を訪問できないことを残念がっておられた。

●意向を伺い、個別案件ごとに対応

里帰り、墓参りへの支援等について個別案件ごとに対応

3 両園保有史料の保全策に関する国への要望の実施

●史料の保全に関する国への要望

令和6年度重点要望

<内容>

将来構想の実現に向け、全力で取り組むこと。
ハンセン病療養所が保有する歴史的建造物や過去の貴重な文献等の資料を保全し、普及啓発に活用すること。

(参考)

国の登録有形文化財として登録(平成31年3月)

【長島愛生園】旧事務本館など5件

【邑久光明園】恩賜会館など5件

4 今後体制を整えた上で、さらに行う取り組み

(1)ハンセン病療養所入所者に対する聞き取り調査の実施

自治会及び園当局の協力を得て、聞き取り調査を実施し、了解が得られる方の聞き取り調査結果については、啓発資料として活用すること

●小冊子への体験談の掲載

通年 入所者の体験談を掲載した小冊子を、語り部講演会、学校等での人権学習に活用

【再掲】

問い合わせのあった学校、市教育委員会等へ配付

学習用小冊子「ハンセン病のこと正しく知っていますか？」

2,075部(7月末現在)

●動画やアニメーションによる啓発

通年 語り部証言動画や体験談のアニメーションをホームページや動画投稿サイト上に投稿し、展示会や人権学習の場で活用

(2)関連資料・史料の収集・蓄積

広く県民に対して関連資料の提供を呼びかけるとともに、歴史研究者の協力を得て、岡山県及び市町村保存史料等の調査・研究を進め、偏見・差別解消に向けた取組みの一環として、これらの調査・研究を通じて明らかにされる事実を題材として、県民に対する啓発を行うこと

●資料集刊行、収集した史料の保存・公開

通年 平成20年度までに刊行した資料集制作の際等に収集した史料を、平成21年度末に県立記録資料館へ引き継ぎ済。

県立記録資料館において、史料の公開(H27年1月6日～)。

なお、史料開示の相談があった場合は、個別案件ごとに対応している。

※●健康推進課の実施事業

令和4年度 健康推進課のハンセン病問題に対する取組

- ハンセン病問題に関する講演会等の開催 (P. 3)



- ハンセン病問題に関する普及啓発 (路面電車への中吊り広告掲出) (P. 4)



- ハンセン病問題に関する普及啓発 (パネル展の開催) (P. 4)



- 県議会委員長、副知事による入所者訪問 (懇談、献花、激励費等の贈呈) (P. 7, 8)



健 第 1262 号
令和5年1月12日

岡山県関係所属長 殿

保健福祉部健康推進課長

ハンセン病に関する文書の保管状況に関する実態調査について

平素より保健福祉行政に御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

このことについて、厚生労働省健康局長から別添のとおり通知がありましたので、「1 調査対象部署」に記載する次の部署については、内容をご確認の上、「2 調査対象文書」について、保管状況を調査いただき、別添調査票に記載の上、健康推進課あてご提出いただきますようお願いいたします。

なお、本県の調査結果は健康推進課でとりまとめた上で厚生労働省へ提出します。

記

- 1 調査対象部署 (通知送付先) 総務学事課、税務課、保健福祉課、医療推進課、障害福祉課、住宅課、人権施策推進課、教育庁人権教育・生徒指導課、警察本部県民広報課、議会事務局、各保健所・支所、県立記録資料館、県立図書館、県立博物館、健康推進課
- 2 調査対象文書 ハンセン病（癩病・らい病）に関連する文書（電子データ含む）
（厚生労働省通知に記載の内容及び別添の長野県調査結果を参考のこと）
- 3 調査対象項目 別添調査票のとおり
- 4 調査・提出方法 別添調査票により、メールにて提出
- 5 提出期限 令和5年5月31日
- 6 提出先 保健福祉部健康推進課 (kensui@pref.okayama.lg.jp)

保健福祉部健康推進課感染症対策班
〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6
Tel. 086-226-7331 Fax. 086-225-7283

各都道府県知事 殿

厚生労働省健康局長
(公 印 省 略)

ハンセン病に関する文書の保管状況に関する実態調査について

厚生労働行政の推進につきまして、平素より御尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和3年2月に「明治三十二年 癩病患者並血統家系調 永年保存 大町警察署」と記載された文書がネットオークションに出品され、当時のハンセン病患者の方やそのご家族に関する情報が、一時的に不特定多数の方によって閲覧可能な状態となっていた事案が発生しました。

本事案は、これまで偏見と差別の中で多大な苦痛と苦難を受けてきた元患者の方々やご家族にとって、新たな偏見・差別を生み出し、重大な人権侵害につながる恐れがあります。

本事案を受け、厚生労働省では現在、各都道府県で保有しているハンセン病に関連する文書及びその保管状況等の実態を把握するため、調査を行うことといたしました。

つきましては、下記を参照の上、調査を実施いただき、別添の調査票に記入の上、提出をお願いします。提出いただいた調査結果については、厚生労働省でとりまとめた上で公表予定です。

記

- 1 調査対象部局等 都道府県庁内各部局（総務部局、保健福祉担当部局[医療行政、感染症・ハンセン病対策担当部局等]、病院関係部局、人権擁護担当部局、教育委員会事務局及び警察本部等）及び調査対象文書を保有している可能性がある出先機関等（保健所、歴史博物館等）
※調査の対象とする部局等については、以下の2に記載の他県で確認されている公文書の内容例等を参考に各都道府県において判断されたい。
- 2 調査対象文書 ハンセン病(癩病・らい病)に関連する文書(電子データ含む。)

(参考) 他県で確認されている公文書の内容例

- ・癩病患者に関する調査
- ・癩予防に関する件、癩予防に関する執務摘要
- ・内務省衛生局訓示
- ・患者の細菌検査に関する意見具申
- ・療養所、病院に関する予算、警察費予算、県分担金
- ・警察署巡回注意事項
- ・県税賦課徴収
- ・県議会選挙、県議会質疑
- ・集落移転に係る予算、進捗状況

※パンフレットや一般図書等広く一般に公開されているものは調査対象除外とする。

- 3 調査対象項目 別添調査表のとおり
- 4 調査・提出方法 別添調査表により、調査対象部局等に調査を実施した上で、1つのエクセルファイルに1つのシートにとりまとめ、メールで提出願います。
また、各調査対象部局等に対し調査をかけた照会文についても、あわせて提出願います。
- 5 提出期限 令和5年6月30日

(照会先・提出先)
厚生労働省健康局難病対策課ハンセン病係
[TEL:03-5253-1111](tel:03-5253-1111)(内 2369)
メールアドレス:kourou_hansen@mhlw.go.jp

ハンセン病（癩病・らい病）に関する文書の保管状況調査票

- ・ハンセン病（癩病・らい病）に関する文書があればすべて記載してください。
- ・同一内容が複数冊子に分かれている場合は、冊子ごとに記載してください。（Ex. ●●その1、●●その2）
- ・一般的に入手可能な図書、パンフレット等は調査対象外（記載不要）です。
- ・文書の内容は、可能な限り具体的に記載してください。

各部署名	
担当者名	
電話番号（内線）	
メールアドレス	

No	作成年度	保存期間	記録媒体	文書名	文書の内容 (可能な限り具体的に)	個人情報の有無					保管場所	保管方法	保管に関する今後の方針	保管部局・課室名	備考	
						有無	氏名	年齢	性別	住所						その他・備考
記載例	昭和20年	永年	紙	らい病患者台帳	当該年度にらい病（ハンセン病）と診断された方の個人情報や療養先を記載した台帳	有	○	○	○	○	・患者本人の氏名等 ・入所療養所名 ・保護者等の氏名	県庁4階○○課書庫	鍵付きキャビネットで保管 (鍵は係長が管理)	引き続き保管予定	●●部○○課	
	平成28年	5年	紙	平成28年度 ハンセン病一般	ハンセン病に係る普及・啓発に係る起家文書、啓発資料等	無					なし	県庁地下書庫	鍵なし棚で保管 (書庫入口を施錠。鍵は情報公開・法務課が管理)	保存期間満了後（R4）に不用決定（廃棄）予定	●●局○○課	
	平成30年	5年	電子データ	平成30年度療養所入所者名簿	当該年度4/1時点の療養所入所者の名簿	有	○	○	○	×	・患者本人の氏名等 ・入所療養所名	課共有サーバ	パスワード付きで保存 (パスワードは担当者の引継書類に記載)	保存期間満了後（R6）に不用決定（削除）予定	●●局○○課	
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																